
ROLE-PLAYING GAME

如月 葉月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ROLE - PLAYING GAME

【Nコード】

N9131M

【作者名】

如月 葉月

【あらすじ】

2010年。ある少女がパソコンのRPGをしようとスタートボタンを押した。すると、そこで少女は気を失ってしまった。目を覚ますと、知らない間に不思議な空間にいた。そこからその少女の冒険が始まった。

2作目です。作者は暇じゃないんですよ。一応。今回はファンタジー系でいこうかなと思います。長続きするように頑張ってみます。

最近気づいたのですが、私と同じユーザー名の方がいらっしやい

ますが、その方とは別人ですし、真似をしたわけでもないのだから心ください。

今回も誤字・脱字&変な文章&打ち間違えなどあると思いますが、そこもよろしくお願いします。あと、原作もわかりませんので適当に書いてみました。ご了承願います。長くなつてすいません。ここはあらずじを書くところですよ・・・。申し訳ございませんでした。

始まり（前書き）

今回もアドバイス等ございましたらお願いします。

始まり

【プロローグ】

西暦2010年7月21日。とある少女がPCのRPGオンラインゲームを探していると、【ROLE-PLAYING GAME】というゲームが見つかった。少女は、すぐにスタートボタンを押すと、気を失ってしまった。目を覚ますと彼女の知らない空間に・・・。

ここはどこだろう・・・不思議な空間・・・。

「お目覚めですか？ロナさん。」

「あなたは誰？というか、何で私の名前を知っているの？」

「私はこのゲームの女神、『シリエス』です。どうしてあなたの名前を知っているかというと、このゲームに会員登録したでしょう？そのときにIDを書き込んだでしょう。それでわかったのですよ。」紺色の長い髪をした綺麗な女神系の女性が現れて、私に詳しく説明してくれた。

「そうなんだ・・・というより、ここはどこ？」

「何をおっしゃいますか。あなたは決心してこのゲームのスタートボタンを押したでしょう？」

「決心？」

「そう。このゲームをクリアするまでこの世界にいます。」

「ええ！そんなの聞いてないよ！」

「注意事項にかいてあったでしょう？」

「読んでない・・・。」

ロナは「別に、やりながら読めばいいや。」というやつである。

「あら・・・でも、押してしまったからにはしかたないです。

あ、でも、クリアしたら、あなたがいた時間の現実世界に戻れますから。」

「そうなんだ……。じゃあ、早く戻れるように頑張る！」
普通は納得しないだろう。

「その調子です。では、あなたの職業は何にし……」

「剣士で……！」

即答だった。

「わかりました。では、これを装備してください。」

シリーズから渡されたのは、RPGのベタな剣と盾と、革の服である。

「おお……。ベタだ……。」

そう言いながら装備した。

「では、いつてらっしゃい。」

「え？あ、ちよつとお！」

そういつて、シリーズは消えていった。すると、みたことの無い街にいた。

大きな不安もあつた口ナだが、目が輝いていた。

始まり（後書き）

こんな感じでどうでしょう。感想やアドバイス等がございましたら
お願いします。

仲間（前書き）

誤字・脱字等ありましたらお願いします。
村を街に修正致しました。

仲間

ロナはみたことも無い街の大通りをふらふらと歩いていると、怖そうなおじさん（実際若いけど、ロナにはおじさんに見えた）とぶつかってしまった。すると、そのおじさんに話しかけられた。

「お前どこ見て歩いてんだよー!!」

ロナが不良に絡まれていると、

「何してんのよー!! その娘から離れなさいー!!」

と、女の子の声が聞こえた。

「ちっ……。しゃーねーなー!!」

といって不良はロナから離れていった。その様子を見て、口をあめぐりとあけていると、

「大丈夫?」

とその女の子から話しかけられた。

「えっ!? あ、うん。」

「あたし、前あいつに絡まれたんだけど、血だらけにしてやったらあれから言うこと聞くようになってきたんだ（笑）」

と、その女の子は明るく、怖い話を話した。ロナはおどおどしながら話を聞いていた。

「あ、そだそだ。あたしの名前は「ミオン」っていうんだ。あ、ちなみに、ひぐしとは全然関係ないからね（笑）職業はプリーストだよ。攻撃は素手でもOKだからプリースト選んだんだ（笑）」

「なるほどね!（納得した。）わたしはロナだよ。剣士なんだ。」

「そうなんだー! あっ! せっかくだからパーティ組まない?」

「え! いいの? 嬉しいな じゃあ、これからよろしくね。」

「うんっ!」

仲良くなったことをきっかけにパーティを組み、一緒に冒険をすることになった二人であった。

最初はミオンを怖がっていたロナだが、これからの冒険をすごく

楽しみにしているロナであった。

仲間（後書き）

アドバイス等ありましたらお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9131m/>

ROLE-PLAYING GAME

2010年10月18日04時07分発行